

日本RV協会の広報部2人が、実際にキャンピングカーを借りてみた!

気軽に借りて出かけよう!

～レンタルの方法から楽しみ方、返却まで実践レポート～



レンタルキャンピングカーのすすめ



【今回キャンピングカーを
お借りしたお店】

RVランド
イオンモールつくば店
〒305-0071
茨城県つくば市稲岡66-1-B
(イオンモールつくば 外部棟)
☎ 029-896-6117
営業時間：10:00～19:00 年中無休
<https://www.rvland-tsukuba.com>

『キャンピングカーに乗ってみたい!』であればレンタルという方法もある。

移動手段や宿泊場所としても使えるキャンピングカーを簡単に体験できる。普通のクルマを借りるようにレンタルの手順もスムーズ。不安もしっかりとサポートしてくれるので、初心者でも問題ない。

まずはお手軽に、憧れていたキャンピングカーライフをレンタルで楽しんでみよう。

1
Let's rent a
Campingcar

まずは借りる前にキャンピングカーの種類を知ろう!



運転上級者向け

キャブコン



広々とした室内が特徴のキャブコン。ベース車両の上に、部屋となるキャビンを架装している。外から見ると、大きさを感じてしまうが、実際の運転ではサイズを強く意識することもない。狭い道に入ってしまったら、横風の強い場所では注意が必要。高さがあるので、高い場所の障害物、標識、軒下などにぶつからないように、視野を広げて運転を心がける必要がある。



運転中級者向け

バンコン



ハイエースなどのバン車両をベースに、室内などをキャンピングカーに変更している。外からはキャンピングカーとして気付く人も少ないが、国内では最も広まっているスタイル。ドライビングはミニバンを運転しているような感覚。それでも、横風の影響などを受けやすいので、風の強い場所での運転は慎重になった方がいい。商業施設などの駐車場なども利用しやすい。



運転中・初級者向け

軽キャンパー



軽自動車をベースにしたキャンピングカー。ボディをそのまま使ったバンコンタイプと上写真のような、部屋を架装したキャブコンタイプがある。なんといっても、小回りができることによるドライビングのしやすさが特徴。限られたスペースを効率よく使えるレイアウトの工夫も多い。ドライビングに不安があるのなら、まずは軽キャンパーでキャンピングカー体験してみるのもいいだろう。



免許についての注意

キャンピングカーは大きなクルマでも普通免許で乗れるようになってきている。しかし、注意が必要なのが、キャンピングカーの重さ。重量によっては免許の制限があるので、自分の免許でどのぐらいの重さのクルマを運転できるか確認してみよう。免許取得年によって、普通自動車免許のみで運転できる車両の上限重量が違っている。



2
Let's rent a
Campingcar

予定が決まったらお店を選んで予約しよう!



ネットから予約

まずは予約をしよう。ハイシーズンではクルマがなくなってしまうことも多いので、早めの予約がいい。ホームページから直接予約できるところも多い。レンタル業者選びに悩んだら、日本RV協会会員の「JRVA RENTAL」を掲げるお店を選ぶのがおすすめ。



事前に学習

事前にキャンピングカーの使い方をレクチャーした動画を用意しているレンタル業者もある。今回、キャンピングカーをレンタルしたRVランドイオンモールつくば店では、ベッドメイクや装備の使い方をYouTubeで確認できる。よりキャンピングカーを楽しむためにも事前学習は必須。



3
Leve rent a
campingcar

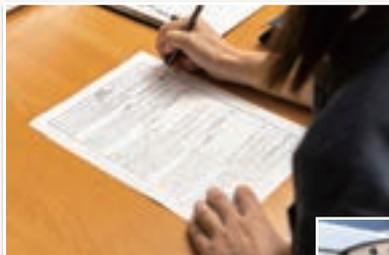
レンタル当日！ お店での段取り！



いよいよキャンピングカーを借りる当日。キャンピングカーのレンタルでは、事前の説明もあるので、早めに店舗に行くのがおすすめ。クルマの使い方などを事前学習しておけば不安も軽減される。



店舗でキャンピングカーをレンタルしにきたことを伝え、事務処理を行っていく。担当者から詳しい説明があるのでしっかり聞いておこう。特にキャンピングカーの場合は保険の適用が一般のクルマと少し違ってくる。架装されたキャンピングカーがあるため、その内容も少し複雑になってくる。この日も保険の話がていねいに行われていた。



必要書類への記入は一般のクルマをレンタルする時と変わらない。しっかりと内容を確認して、誓約書などへもサインしていく。レンタカーを借りたことのある人であれば、特に迷うこともないだろう。

書類、車両確認が終わったら、クルマに荷物を積み込む。キャンピングカーとはいえ、走行中に居住空間へ移動することはできないので、着替えなどの大きな荷物を後部座席へ載せておき、手元にスマホや財布などの荷物をまとめておく方がいい。



⚠️ お店まで乗ってきたクルマは？

乗ってきたクルマは、キャンピングカーをレンタルしている間、店舗に置いておける場合がある。自分たちが乗っていったクルマを駐車できるか、事前にチェックしておこう。

4
Leve rent a
campingcar

出発前にクルマをチェック！



車高をチェック!!

キャンピングカーで多い事故は高さの不注意。クルマの外からしっかりと高さを確認しておけば、道路の状況を判断しやすくなる。事前に高さを数字で確認しておくといい。



給油口をチェック!!

キャブコンタイプの場合、給油口の場所が分かりづらい。ガソリンスタンドで慌てないためにも、事前に給油口の場所を確認しておこう。カバーのオープン方法も要チェック。



ボディの傷をチェック!!

ボディの傷チェックは一般のレンタカーと変わらない。キャンピングカーの場合、後方両サイドをぶつけやすいので、傷やへこみがないか、しっかりとチェックしておこう。

5
Leve rent a
campingcar

運転前にキャンピングカーのドライビングを学ぶ！



スピード出しすぎ注意!

キャンピングカーを運転する前にドライビングについて、改めて確認しておこう。まず、キャンピングカーはスピードを抑えて運転する事が大切。今回のレンタカーにも記されていた通り、高速道路であっても80km/hを上限に考えて運転するのが望ましい。運転に慣れてくると、普通のクルマのようにスピードを出してしまう人が多いが、キャンピングカーはたくさんの荷物を載せている状態なので、スピードダウンを常に心がけなければならない。



急ハンドル注意!!

急ハンドルは厳禁だ。キャブコンの場合、重心が一般的なクルマより上にあるため、左右にクルマが振られた時の影響が大きくなってしまふ。車線変更、交差点での右折、左折など、スピードを落としながら、ゆっくりとステアリングを操作しなければならない。ちょっとした小さな動きであっても、急ハンドルでクルマが揺れてしまい、その揺れを修正しようとまた急ハンドルを切つてを繰り返して、横転事故につながってしまうこともある。



走行中の横風注意!!

大きなクルマが横を通り過ぎた時、トンネルを抜けた時、橋の上を通過する時など、キャンピングカーは横風の影響を受けやすい。突然の横風に驚いて、急ハンドルを切ってしまうと、事故のリスクが一気に高まる。風が強そうなどころではステアリングをしっかりと握り、そのままの姿勢キープを意識する。すると、クルマが少し振られた感覚があっても、ゆっくりと戻っていくので、その後、少しずつ修正するのが安全。



Let's rent a
6
campingcar

キャンピングカーだからできる 楽しみ方！

自然が目の前に現れたら、クルマを停めて休憩するのもいい。特に初めてのキャンピングカードライビングでは体が緊張しているので、適度なリラックスタイムが大切になってくる。



キャンピングカーであれば、のんびりと旅の行程も楽しめる。クルマを停めて、リアキャビンへ移動して時間を過ごすのもいい。どこでも快適な環境を持ち運びながら移動できるのがキャンピングカーの醍醐味でもある。リアキャビンにいれば、クルマの中で過ごしていることを忘れてしまう。電源もしっかりと装備されているので、スマホの充電をしたり、時にはパソコンで動画鑑賞などもできる。このように、自分の好きな時間を過ごせるのがいい。

ちょこっとグルメ情報

みずほの村市場 蕎麦

住所：〒305-0842 茨城県つくば市柳橋496
電話：0968-36-3400
営業時間：11時～15時(土曜～20時)
定休日：火曜
<http://mizuhonomuraichiba.com/sobaya/>



みずほの村市場にある蕎麦屋へ。今回レンタルしたレジストロアウルはコンパクトなボディなので駐車スペースにも余裕で停めることができました。地元産の「常陸秋そば」を使い、地元の食材、そして、調味料まで国産にこだわった日本そばを食べられる。石臼の挽きたてそば粉を使って、その場で打っている新鮮なそばが絶品。地元野菜の天ぷらは甘みを感じ、そばの味わいを引き立てる。

Let's rent a
7
campingcar

キャンピングカーならではの装備が旅を快適にする

疲れたら
ひと休み

ベッド

Sleeping Place



改めて便利だと感じるのが、キャンピングカーには就寝できるスペースが確保されている事。宿泊する時のベッドとして利用するのはもちろんだが、ドライブ途中の休憩で横になれることはメリットが大きい。体力も回復できるし、のんびりとした雰囲気を楽しめることもできる。

生ものや冷凍品の
お土産も買える

冷蔵庫

Refrigerator



キャンピングカーであれば新鮮食品をお土産に購入できるのがポイント。数日の旅行であっても、海鮮などを購入できるのはキャンピングカーならではの。普段の旅行では購入しにくかったモノを気兼ねなく選べるようになる。冷蔵庫はキャンピングカーによって、大きさも違うので、買い過ぎに注意。冷凍保存機能が付いたタイプもあるので、事前にチェックしておけば、アイスクリームなどの冷凍食品も購入できる。

キャンピングカーを安全に乗るために 守らなければならない事

後部座席に着座の際も 必ずシートベルトをしましょう!

キャンピングカーには乗車人数が決まれているので、まずは利用する人数と乗車定員をしっかりと確認しておこう。居住空間の座席にもシートベルトが装備されているので、走行時は必ずシートベルトを締めなければならない。リビングにいるような感覚でシートベルトを締めることを忘れてしまうので、ドライバーも積極的に声をかけて、シートベルトを締めてもらうようにしよう。



ベッド展開したままで 走行中寝たり、寛いだりは駄目!

ベッドに寝たままの状態で行くのは危険だ。急ブレーキや衝突事故で大きな被害が発生する恐れがある。フルフラットのベッドを展開して、くつろぎながら移動したい気持ちも分かるが、その行為自体が交通ルールに反している。安全のためにも、キャンピングカーのレイアウトは走行モードにしてから、しっかりとシートベルトを締めて移動しなければならない。



常設ベッドでも走行時の利用は禁止!

車内レイアウトを変更しなくてもベッドが設置されたキャンピングカーがある。この場合もベッドに横になった状態でクルマを動かすことは禁止。大きなケガに繋がる恐れもある。

思いっきり楽しんだ後はしっかり返却



ガソリン 満タン返し

ガソリンは満タンにして返却するのが基本。ディーゼルやガソリンの燃料種類も事前にチェックしておけば安心だ。燃費は一般のクルマよりも悪いものが多いので、ガソリン代もしっかりと予算に入れておこう。

忘れ物 チェックも

返却の時はスタッフが忘れ物をチェックしてくれる。ETCカードは定番だが、冷蔵庫の中のお土産を忘れることもキャンピングカーらしいアクシデントだ。次の人も生活する空間なので、気持ちのいい状態で返せるように心がけよう。



カギを返して、荷物を自分たちのクルマに載せ替えたら、キャンピングカーの返却は終了。「ヒーターは使えましたか?」など、設備についてスタッフから聞かれることも多い。そんな時、キャンピングカーならではの特別な体験や旅の土産話などで盛り上がってもいいだろう。言葉で伝えるコミュニケーションも大切なのだ。

◎ キャンピングカーをレンタルするなら JRVA RENTAL

日本RV協会会員のキャンピングカーレンタル業者も多い。会員レンタル業者は「JRVA RENTAL」と呼ばれていて、カスタマーが安心して利用できるように、日本RV協会からレンタル事業のアドバイスなどを受けている。その数も増えていく予定なので、事業者選びの参考にしてほしい。